

「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に基づく取組状況

エー・アイ・キャピタル株式会社（以下「当社」）の「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に対する2021年9月末現在における取組状況は、以下のとおりです。

**お客さまの最善の利益の追求**

お客さまの最善の利益を図るための「お客さま本位の業務運営を実現するための方針」を2017年12月に策定し、当該方針に基づく取組みを開始しました。

お客さまにより一層価値のあるサービスを提供できる様、国内外のファンドマネージャーとの定期的なコンタクト等により、最新の情報収集に努めました。

お客さまへの定期的な活動報告・ヒアリングの実施などを通じ、お客さまの投資動向やニーズの把握に努めました。

（運用資産額）

2021年6月末現在：824,261百万円

**利益相反の適切な管理**

利益相反のおそれのある取引にあたっては、社内規程に沿った手続きを通して、その取引の妥当性を検証しました。また、コンプライアンス研修等を通じて利益相反の適切な管理について役職員への周知・浸透を図りました。

**重要な情報の分かりやすい提供**

お客さまとの情報の非対称性があり得ることを前提に、当社の提供する商品・サービスの基本的な利益（リターン）、損失その他のリスク、取引条件、金融商品・サービスの選定理由、利益相反の可能性等について、お客さまにわかりやすくお伝えできる様、お客さま向け資料の継続的な改善に努めました。

**お客さまにふさわしいサービスの提供**

デュエリジェンスおよびモニタリング実績を通じて、多くの投資先ファンドの投資戦略、投資案件の実績を把握しており、多くの情報に基づいて相対的な比較を行います。そうした情報の蓄積をベースに、お客さまに最適なサービスを提供しました。

投資委員会を含めて、あらゆる意思決定の局面で、投資家の利益に適っているのか否かをトップが常に発言するようにしました。また、毎週の社内の全体会議で繰り返し述べることで、社内はこの精神が浸透するよう心掛けました。

**役職員に対する適切な動機づけの枠組み等**

自己啓発支援として、証券アナリスト（CMA）及び米国証券アナリスト（CFA）資格取得のための受講・受験費用及び年会費の負担に加え、各社員の自己啓発プランに応じて、業務に関する資格あるいは学習費用の半額補助を行っており、自主的な専門スキル向上をサポートしました。

お客さまの最善の利益を図るために、役職員の商品知識、コンプライアンス意識の向上を目的とした勉強会やコンプライアンス研修を、年間を通して実施しました。

直近1年におけるコンプライアンス研修実施回数  
コンプライアンス研修及びクイズ：12回  
入社時研修：5回

以上